

星空とともに夜の日本海を照らす
イカ釣り漁船の光＝豊岡市沖



夏告げるいさり火

兵庫県北部の日本海沿岸で、夏の到来を告げる「いさり火」が夜の海を照らし始めた。明かりはイカを呼び寄せる集魚灯。但馬の海では秋まで、空にまたたく星と、水平線に連なる光が共演する幻想的な光景が広がる。

地元の但馬漁業協同組合や県の但馬水産事務所によると、今年

但馬沖

は例年より1カ月ほど遅れてスルメイカ漁が盛んになり、間もなくシロイカ漁の季節を迎える。同漁協担当者によると「7月ごろは、海上がもっとにぎやかになる」という。

例年、スルメイカとシロイカ漁は8月ごろまで。その後はアカイカに移り、晩秋まで漁が続くという。

(中西幸大)

なまえ【 】

① 写真は何沖の様子ですか。
しゃしん なにおき ようす

沖

② イカ漁は季節によって何イカ漁と変わっていきますか。
りょう きせつ なに りょう か

イカ漁

イカ漁

イカ漁

③ いさり火とは何か調べましょう。
び なに しら

④ この記事の感想を書きましょう。
きじ かんそう か